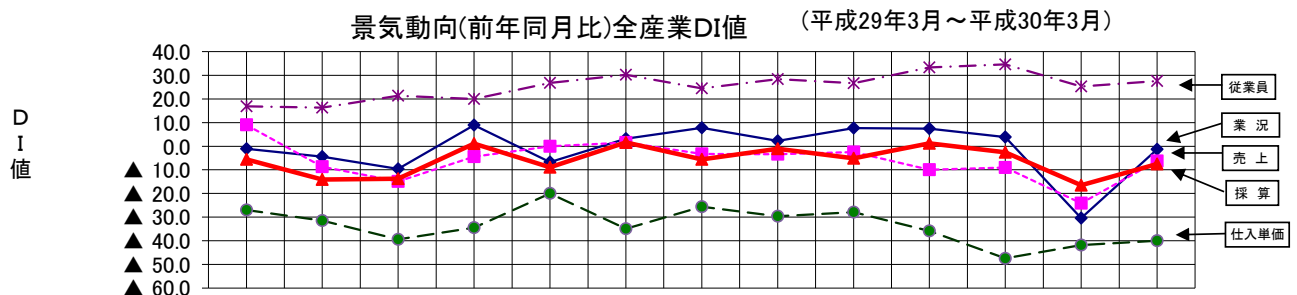


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 3月分

【3月の概要】 景況感はやや改善の動き、先行きは依然として慎重な見通し

2月に比べると、売上DI、採算DI、業況DIともにマイナス幅が大幅に減少して、回復基調が鮮明となった。仕入単価DIのマイナス幅もやや減少している。従業員DIのプラス幅はやや増加した。業況は改善しているが、製造業や卸売業では仕入コスト増が収益を圧迫しているとの声も聞かれ、経営環境は依然として厳しい。

先行きについては、2月に比べ、売上DIはプラス幅が増加し、仕入単価DIのマイナス幅が減少しているものの、採算DIと業況DIはプラスからマイナスに転じている。従業員DIはプラス幅が減少。大雪による前月の景況下降局面から回復に向かう途上にあって、慎重な見通しとなっている。



	平成29年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	平成30年 3月
売上	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 9.6	8.9	▲ 6.7	3.2	7.8	2.3	7.6	7.4	3.9	▲ 30.4	▲ 1.3
採算	9.0	▲ 8.7	▲ 14.9	▲ 4.4	0.0	1.6	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 2.5	▲ 9.9	▲ 9.0	▲ 24.1	▲ 6.3
業況	▲ 5.6	▲ 14.1	▲ 13.8	1.1	▲ 8.9	1.6	▲ 5.6	▲ 1.1	▲ 5.1	1.2	▲ 2.6	▲ 16.5	▲ 7.5
仕入単価	▲ 27.0	▲ 31.5	▲ 39.4	▲ 34.4	▲ 20.0	▲ 34.9	▲ 25.6	▲ 29.6	▲ 27.9	▲ 35.8	▲ 47.4	▲ 41.8	▲ 40.0
従業員	16.9	16.3	21.3	20.0	26.7	30.2	24.4	28.4	26.6	33.3	34.6	25.3	27.5

【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

売上DIは29.1ポイント、採算DIは17.8ポイント、業況DIは9.0ポイント、仕入単価DIは1.8ポイント、それぞれマイナス幅が減少した。従業員DIは2.2ポイントプラス幅が増加した。

全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
2月	6.3	2.5	▲ 31.7	27.9	6.3
3月	7.5	▲ 6.3	▲ 26.3	17.5	▲ 3.8

先行きは、売上DIは1.2ポイントプラス幅が増加し、仕入単価DIは5.4ポイントマイナス幅が減少した。採算DIはプラスからマイナス6.3ポイントに転じ、業況DIはプラスからマイナス3.8ポイントに転じた。従業員DIは10.4ポイントプラス幅が減少した。

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	売上、利益ともに前年並なので、業況は悪くはない。
	総合建設	建設業における中小企業各社の景況感は、年度末工事の完成現場や新規工事受注獲得を各社がしのぎあっており、活発な市場の状態が展開されているように感じられる。
製造業	鉄工	原材料、外注費が高騰している。業況は供給を上回る需要がしばらく続く。
	食料品	段ボール、運賃など諸経費が徐々に上がっており、利幅が圧迫されてきている。
卸売業	機械部品	材料及び製品の仕入価格の上昇が止まらず利益を圧迫している。
	木材・合板	仕入単価は、輸入米材の現地での値上がり、輸入合板も値上がりしている。国内運送経費の上乗せで商品価格が上昇している。
小売業	洋菓子	1月、2月の大雪でバレンタイン商戦が悪化したことで3月のホワイトデーでも売上が減少した。
サービス業	ビルメンテナンス	売上は微増しているが、人件費をはじめとする経費増で、ここ数か月は微減益となっている。
	飲食	売上は結婚披露宴は低調ながらやや下げ止まった感があり、団体利用客が若干増えている。3月は異動時期で送別会が多いが4月以降は落ちつく見込。
	タクシー	乗務員不足により車の稼働率が上がらず売上が伸びない。